第28回 いぜな88トライアスロン大会

今月号の主な内容

地震・津波避難訓練
第28回いぜな88トライアスロン大会
日高小・伊是名小親善交流
いいな運天港いちゃり場まつり
【お知らせ】プレミアム商品券追加販売

平成27年 12
No.537

村のホームページ
http://vill.izena.okinawa.jp

広報 IZENA いぜな

伊是名島イメージキャラクター 尚円王®

自然と歴史が織りなす　尚円の里　伊是名島

	伊是名	仲田	諸見	内花	勢理客	計	先月比
男	167	197	255	102	100	821人	3
女	147	204	174	88	98	711人	-2
計	314	401	429	190	198	1,532人	1
世帯数	170	218	238	86	86	798	4

村の人口【計 1,532人】平成27年10月31日現在

平成27年度 沖縄県広域地震・津波避難訓練 ～より高い場所へ避難!!～

11月5日（木）沖縄県広域地震・津波避難訓練が県内各市町村で実施され、本村では幼稚園・小学校・中学校を対象に行われた。

午前中は幼稚園と小学校関係者が、グラウンドから役場駐車場を経て産業支援センターまで、“より高い場所”へ避難する訓練をした。午後は中学校関係者がグラウンドへ避難した後、消火器による火災訓練も同時に実施した。実演した生徒は、初めて消火器を使用しての訓練に戸惑いを見せながらも、消防団員の指導でしっかり消火させていた。

また、今回の訓練では、11月4日から運用が開始された「沖縄県消防指令センター」の119番通報による訓練も兼ねて行われ、今後の防災体制向上を図る上で有意義な訓練となった。

消火器を使用した火災消火訓練も実演された！

中学校生徒がグラウンドへ避難する様子

幼稚園、小学校関係者が役場から産業支援センターへ避難！

小学校出前事業 土地改良総合事務所

10月20日（火）国の土地改良総合事務所は、伊是名村土地改良区と連携し、伊是名小学校4年生を対象に出前事業、野外体験学習、施設見学を実施した。

授業では、日本の食糧自給率（約40%）の現状について、また、地下ダムの仕組みで農業用水について説明し理解を深めた。野外体験学習では、井戸から水を汲み上げるという今では貴重な体験を通して、水の大切さをPRした。この後、千原地下ダムなどの農業用水施設を見学した児童からは、「貯水池は何トンあるのか。」など質問が相次いだ。

土地改良総合事務所では、今後も出前事業で「伊是名の水・農業・土地改良区の役割」など情報を発信していく方針だ。

大きな千原地下ダムと施設を見学する様子。

井戸水を汲み上げると、澄みきった水だった！

「弁当の日」講演会

～子どもが作る弁当には点数をつけません～

11月15日（日）産業支援センターにおいて、伊是名村学力向上推進委員会、学校保健委員会主催で、子ども自身に作らせる〝弁当の日〟提唱者の竹下和男氏を講師に招き、講演会が開かれた。

「弁当の日で何が育つか」。弁当を作ったことがある子と、作ったことがない子では、どのような違いがあるのか。竹下氏は、現代社会で子育てをいやがる親が増加してきていることに警鐘を鳴らす。例題として、親の教えで受験勉強に没頭し続けた子の中には、社会に出て人との関わりが苦手だったり、子どもが生まれても煩わしく感じたりする。これは、子どもの時から自分のためだけに時間を過ごしてきたことに大きな要因があるという。ご飯や弁当は、親が作って当たり前に育った子どもと、準備から片付けまで自分自身で作った又は手伝ったことがある子どもは、ほんの一部だが前述のような違いがあるという。

また、竹下氏が香川県滝宮小学校において、子どもたち自身に弁当を作らせた事で、どのような教育効果があったのかなど、実証に基づいて話した。最後に、「〝親は当てにするな、自分で作れ〟これが私の訴えです。」とし、子どもたちが弁当作りを通して大きく成長することを提言した。

講演後、伊是名村学力向上推進委員会の名嘉正委員長は、「本日の講演を聴いて、食べるものは自分で作って片付けまですることは、人間教育の原点であると感じた。本村でも、家族みんなでご飯を作り、みんなで味わい、団らんの和を作っていきましょう。」とあいさつした。

「学びの時間」より「くらしの時間」を取り戻そうと講演する竹下氏

チヂン園へ福祉車両贈呈!!

（株）たから不動産

贈呈式での高良社長（左）と東江理事長

11月4日（水）株式会社たから不動産（浦添市）の高良真伊社長（字諸見区出身）より、社会福祉法人いぜな会（特別養護老人ホームチヂン園）へ福祉車両の寄贈がありました。

高良氏は「チヂン園のご利用者が、家族や親族、地域の方々と気軽に外出や外泊できるよう役立てていただきたい。」と話した。チヂン園の東江初信理事長は「利用者の家族との交流を始め、島内ドライブ等あらゆる場面で末永く活用させていただきます。」と謝辞を述べた。

試乗した高良社長の祖父はとても喜んでおられました！

沖縄市民児協が村を訪問

11月12日（木）沖縄市民生委員児童委員協議会の委員16名が、伊是名村における福祉事業の現状を視察する目的で本村を訪れた。

入村後、伊是名村社会福祉協議会で高齢者を対象に実施されている“願寿大学”を視察した。当日は、理学療法士の高麗（こま）富士男先生（4月から伊是名村に在住）が指導する運動教室が開かれており、楽しく会話しながら全身の軽いストレッチ運動を行っていた。委員のメンバーは、運動教室の休憩中に「肝がなさ節」などの踊りを披露し、願寿大学の皆さんを楽しませた。

翌日は村内を視察するなど、伊是名村の現状を把握・参考にするとともに、沖縄市の福祉活動における今後のあり方などについて検討していく方針です。

沖縄市民児協を代表しあいさつをする屋宜恒一会長（中央）

願寿大学で踊りを披露する沖縄市民児協委員

喜納良子さん村へ寄付

奄美大島(瀬戸内町古仁屋)在住の喜納良子さん親子ほか関係者が村役場を訪れ、寄付金50万円の贈呈がありました。

喜納さんによると、亡き夫・喜納弘次氏は、字内花区出身(字仲田区の名嘉美代さんの弟)で、生前「生まれ育った故郷伊是名のために、何かをしたい。」との思いが強く、常々家族に話していたようです。「ずっと気になっていましたが、13年忌が終わり、その思いを叶えることが出来た。村のために役立ててください。」と、贈呈されました。誠に、有り難うございます。

奥間守副村長（左）へ現金を手渡す喜納良子さん、娘さん、喜納弘次氏の妹さん（左2人目から順に）

ザトウクジラ講演会

伊是名小学校（座間味靖校長）では、10月22日（木）小学校体育館において、沖縄美ら島財団の岡部晴菜さんを講師に迎え「ザトウクジラ講演会」を実施した。

講演は高学年の児童を対象に、ザトウクジラの生態や研究の取り組みについて説明があった。また、ザトウクジラに関するクイズもカードを使用して出題されるなど、児童たちも楽しみながら話を聞いていた。講演後には児童から「何年生きられますか？」「何分ぐらい潜っていられますか？」など質問が相次ぎ、岡部さんもわかりやすく答えていた。

クジラの肋骨を手にする児童！

第28回いぜな88トライアスロン大会
28th IZENA88 TRIATHLON

第28回いぜな88トライアスロン大会（主催：伊是名村、沖縄タイムス社）が、11月1日（日）伊是名村臨海ふれあい公園グラウンドをメイン会場に開催された。2年ぶりに開催された同大会には、全国各地（海外含む）からA組（個人）486名、B組（チーム）69名、計555名が参加した。

肌寒い秋空の下、午前9時に伊是名ビーチでスイム種目が開始され、選手たちが一斉にスタートした。村民一丸となっての応援とボランティアで、選手たちが次々とコースを駆け抜けていった。2種目目のバイクが終了し、最後の種目ランへ向かう選手たちの表情も疲労感が漂っていたが、沿道からの「頑張れ!」「ゴールまでもう少し!」の声援に、奮闘しながらゴールを目指した。そして、臨海ふれあい公園グラウンドでは大勢の関係者、子供たちが待ち受ける中で選手たちが続々とゴールし、A組462名（完走率95.1%）、B組は全23チームが時間内完走を果たした。

競技終了後は、ふれあいパーティーが開かれ、選手と村民が食事を頬張りながら交流を深め、今大会の成功を盛大に祝うとともに、来年10月30日開催の第29回大会での再会を誓った。

男子総合

1位　桑原　寛次　3:36:30
＊第24回大会以来5回目の総合優勝
2位　池　隆礼　3:45:55
3位　新里　崇　3:59:45

女子総合

1位　田中　敬子　3:55:49
＊第26回大会に続き2回目の女子1位
2位　我那覇 昭子　4:20:33
3位　Lydia Davitt Dahl　4:20:47

チーム総合

1位　スズパワーとら組　3:43:26
SWIM：山崎　紗智　BIKE：戸田　充晃　RUN：當麻　雅人

白熱!! キッズトライアスロン!

第15回いぜなキッズトライアスロン大会（主催:いぜなキッズトライアスロン大会実行委員会）が10月31日（土）、伊是名ビーチをメイン会場に開催された。昨年は天候不良のため中止となり、2年ぶりとなった今大会には小学1年生から6年生まで36名の選手が参加した。

時折強い風が吹くコンディションの中、会場にはPTAやトライアスロン大会に参加する選手など多くの方が選手たちを応援しようと駆けつけた。

大会は小学1年生から3年生の選手から行われ、水泳とランの2競技で争われた。その後、小学4年生から6年生の選手たちが水泳、バイク、ランの3競技で上位を目指し、白熱した展開に歓声がわき起こった。ゴール前では、選手たちの奮闘に激励の拍手が送られた。

スタート直後、選手たちが勢いよくスイムへ！！

ゴールは大きな声援で迎えられた！

各学年・男女別表彰（各1位）

小学1年	男子：仲村渠 智幸	女子：比嘉 絵里（り）
小学2年	男子：東江 謙信 シャントニー	女子：東江 俐来（こ）
小学3年	男子：上里 鳳（ほう）	女子：潮平 彩乃
小学4年	男子：仲田 慎（しん）	女子：濱里 愛
小学5年	男子：伊禮 琉真	
小学6年	男子：奥間 星翔（せいや）	女子：末吉 ほしな

日高小・伊是名小親善交流

日高小・伊是名小6学年記念撮影（伊是名公民館前）

日高小児童による“南中ソーラン節”

11月10日(火)北海道の日高小学校6学年の児童16名(他、引率4名)が、伊是名小学校との交流のため本村を訪れた。

仲田港でのセレモニーで歓迎された一行は、長時間の移動も感じさせず笑顔で入村した。昼食後には伊是名小6学年との交流がスタートし、伊是名ビーチでの海洋体験に臨んだ。南国の海での貴重な体験に、大いに楽しんでいた。夕方には宿泊場所の伊是名公民館へ移動し、地元の保護者が準備した島の料理やバーベキューを堪能。その後の交流会でも、両校児童、関係者による踊りや出し物などで盛り上がった。

翌日、島内観光で名所を巡り、伊是名小学校での全体交流で親睦を深めた一行は、2月2日（少年の翼で）の再会を誓い北の大地へ帰郷した。

海洋体験ではシーカヤックやバナナボートを堪能した

中学校校内学習・音楽発表会

11月8日(日)伊是名中学校体育館で校内学習・音楽発表会が行われた。学習発表会では1学年が交流学習、2学年が職場体験、3学年が修学旅行に関する取り組みを説明し、音楽発表会では生徒全員で合唱するなど体育館に歌声を響かせていた。

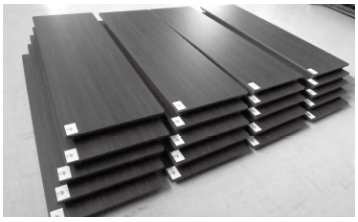
生徒全員による合唱!!

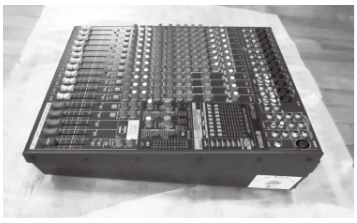
職場体験の報告をする2学年

宝くじ助成金で備品を整備しました

～平成27年度コミュニティ助成事業～

宝くじ普及広報事業の一環として、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業により、各区のコミュニティ活動が活発に図れるように、備品が整備されました。
区民のみなさん、コミュニティ活動に活用してください。





備品名	数量
●勢理客区	
音響機器一式	1式
●仲田区	
折りたたみテーブル	15脚
パウロテント一式	1組
ビギナー1号沖縄三味線	2棹
●諸見区	
ﾀｲﾋﾟﾝ型ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸﾛﾎﾝ 800MHz	4個
マイクロホンスタンド	2本
マイクウインドスクリーン	20個
楽器用マイク	3本
マイク	8本
マイクスタンド(標準ブーム型)	4本
マイクスタンド(ショートブーム型)	4本
譜面台	6台
折りたたみテーブル	5脚

お知らせ

伊是名村プレミアム商品券の追加販売について

村では、伊是名村に住所があるすべての方を対象に、11月からプレミアム商品券を販売しております。一次販売では一人2冊までと限定しておりましたが、好評につき、二次販売では一人5冊までに上限を拡大いたします。（すでに2冊購入された方は、あと3冊まで購入可能）ただし、数に限りがありますので売り切れ次第、販売終了となりますのでご了承ください。

『500円券』14枚綴りで1冊7,000円分を5,000円で販売！なんと、2,000円のお得!!

※村内のお店、飲食店、給油所等（店頭にプレミアム商品券ののぼりがあるお店）において平成28年2月15日(月)まで利用できます！

●販売日：平成27年11月26日～(売り切れ次第終了)

●販売場所：伊是名村役場　企画政策課

販売先・お問合せ：伊是名村役場　企画政策課　☎45－2001

お知らせ

あなたの農地を貸しませんか

平成26年4月1日より新たな「農地中間管理事業」がスタートしました。

「農地中間管理事業」（事業主体：沖縄県農地中間管理機構）を活用するメリット

【農地の貸し手】

①賃料などに関しては、農地中間管理機構が責任を持って行います。

②農地借入れ契約期間の満了時には、農地所有者に確実に返ってきます。

③借り入れた農地は、借り手が見つかるまで、最長2年間適切に管理し、その間の賃料は、機構が支払います。

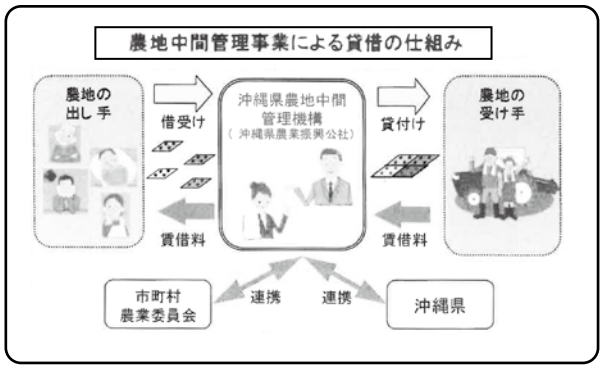
④土地相続や農業をやめる方は、自己所有農地の管理が安心して任せられる。

【農地の借り手】

①機構が、貸し手と借り手との仲介役として、複数の貸し手との個別調整や事務手続き等行うので、煩雑な手続きが解消されます。

②農地借入れ期間の満了まで、安心して耕作することができます。

③農地を集積・集約化を機構が行うので、農業経営の効率化が図られる。



問合せ先　伊是名村農業委員会、伊是名村農林水産課
TEL 0980-45-2004

「離乳食実習」～保健センターだより～

10月22日(木)村保健センターにおいて、沖縄県小児保健協会から栄養士を招いて、「離乳食の進め方と乳幼児の栄養について」と題して、乳幼児の母親15名が参加しての実習が開催された。

乳幼児6ヶ月未満から8ヶ月、11ヶ月用として、それぞれ野菜や白身魚多種食材を使用して離乳食を作り、参加者は今後の子育てにおける栄養管理に貴重な体験となった。

乳幼児のお母さんたちが楽しみながら調理しました

広報 IZENA いぜな 12
平成27年 No.537

離島フェア2015優秀賞に「もずくキムチ」

11月21日（土）から23日（月）に沖縄セルラーパーク那覇（那覇市奥武山公園）をメイン会場に開催された離島フェア2015で、伊是名漁業協同組合（仲田吉光組合長）が出展した「もずくキムチ」が、「優良特産品」優秀賞を受賞した。

平成24年度に県の「産地漁協ビジネス連携新商品開発支援事業」の補助を受け、「島自慢の万能きむち（伊是名島産もずく入り）」として商品開発に取り組んだ。その後、調査研究を経て、現在の「もずくキムチ」に改名。子供から大人まで食して頂けるように辛さや臭みなどを抑えたソースタレ開発、キムチソース以外の原材料はもずくのみにするなど、消費者へ伊是名島のもずくを堪能して頂きたいとの思いから生まれた商品とのこと。

離島フェア2015「優良特産品」優秀賞を受賞した『もずくキムチ』!

第3回いいな運天港いちゃり場まつり

11月14日(土)伊是名村・伊平屋村・今帰仁村を繋ぐ拠点である運天港(緑地公園)において、第3回いいな運天港いちゃり場まつり（三村交流事業）が開催され、多くの人で賑わった。

セレモニーでは三村長が出席し、3回目を迎えた同まつりの開催を祝うと同時にお客さんを歓迎した。ステージでは三村から多くの団体が出演し、本村からは尚円太鼓、PONCOSバンド、村出身の伊禮俊一さんが観客を盛り上げた。

公演の間の“なかゆくい”（休憩タイム）にはフェリー伊平屋Ⅲでの遊覧が実施され、参加者は穏やかな羽地内海クルージングを楽しんだ。また、公園内では三村の特産品などが販売され、多くの観光客が足を運ぶなど、この日の運天港は活況を呈していた。

ワルミ大橋をくぐる遊覧の様子

三村の名酒が三村長によりブレンドされる

緑地公園は多くの人で賑わった

ニンニクカズラが満開

トライアスロン終了後の11月初旬、村内ではニンニクカズラ（ノウゼンカズラ科、熱帯アメリカ原産）の花が満開していた。鮮やかな紫色で、ほのかにニンニクの香りが漂う花びらには、数種の蜂と昆虫たちが花粉を求め集まっていた。咲き始めは紫色で徐々に白っぽくなっていきますが、しばらくは花を咲かせるそうです。

花粉を求める昆虫･･･
頭にまで花粉が付いてます

島の暦 12～1月の行事予定

12 /8	火	・ウェータイ（鬼餅）
12	土	・第23回生涯学習発表会（伊是名村教育の日）
19	土	・スーパードリフトin伊是名島大会　~20日(日)まで
25	金	・幼小中2学期終業式
28	月	・官公庁御用納め
1 /1	金	・元日／・伊是名村成人式
4	月	・官公庁御用始め
6	水	・消防出初め式 ・幼小中3学期始業式
11	月	・成人の日
23	土	・郷友会新年会（那覇市自治会館）
26	火	・文化財防火訓練

我が家のニューフェイスです。よろしくね

名嘉（ともき）　友希　くん（三男）

平成27年11月11日生　　父: 尚　母: すみれ

広報11月号(No536)掲載記事のお詫びと訂正について

●P2～3ページに掲載しました「伊郷芸協報告記」は、伊是名村観光大使の西昇氏より原稿提供いただきましたが、編集の際に記載が漏れておりました。また、本文においても訂正があります。

・P3、一段落10行目の「マニアニ」ですが、正しくは「マニカニ」。
・P3、一段落25行目の「畏敬」の読み仮名は「いけい」。

以上の2点について訂正させていただきます。
ご購読いただいております皆様、当記事編集関係者の皆様へお詫び申し上げます。

企画・編集・制作／伊是名村総務課／広報編集委員会
TEL(0980)45－2001　FAX(0980)45－2467
印刷：丸正印刷株式会社